賛助会員一覧 （順不同）

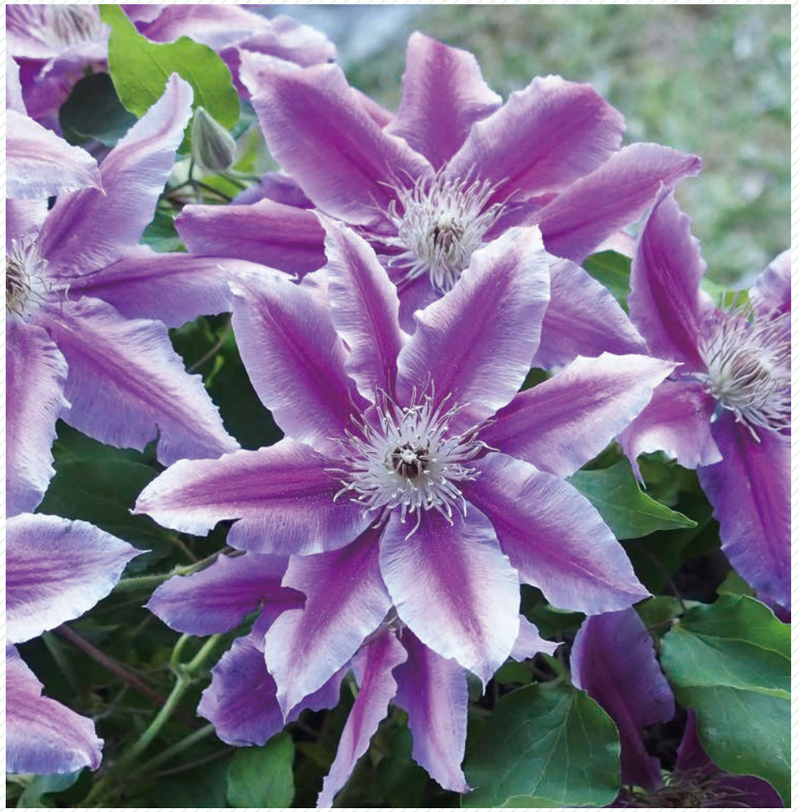
関東国際高等学校 東京都渋谷区本町3-2-2	**村山 サンドラー 先生** TEL：03-3376-2244	**自由学園 中等科・高等科** 東京都東久留米市学園町1-8-15	**更科 幸一 先生** TEL：042-422-3111
東洋高等学校 東京都千代田区神田三崎町1-4-16	**石井 和彦 先生** TEL：03-3291-3824	**京華学園** 東京都文京区白山5-6-6	**今野 巌 先生** TEL：03-3941-6493
桜丘中学・高等学校 東京都北区滝野川1-51-12	**高橋 知仁 先生** TEL：03-3910-6161	**武蔵野大学千代田高等学院** 東京都千代田区四番町11	**岡田 孝子 先生** TEL：03-3263-6551
光英VERITAS中学高等学校 千葉県松戸市秋山600	**川並 芳純 先生** TEL：047-392-8111	**目黒日大中学高等学校** 東京都目黒区目黒1-6-15	**天野 正貴 先生** TEL：03-3492-3388
麹町学園女子中高等学校 東京都千代田区麹町3-8	**田邊 隆 先生** TEL：03-3263-3011	**共栄学園中学高等学校** 東京都葛飾区お花茶屋2-6-1	**越間 秀男 先生** TEL：03-3601-7136
春日部共栄中学高等学校 埼玉県春日部市上大増新田213	**馬﨑 郁朗 先生** TEL：048-737-7611	**中村中学・高等学校** 東京都江東区清澄2-3-15	**富田 義道 先生** TEL：03-3642-8041
東京立正中学高等学校 東京都杉並区堀ノ内2-41-15	**小泉 岳司 先生** TEL：03-3312-1111	**文教大学付属中学高等学校** 東京都品川区旗の台3-2-17	**神戸 航 先生** TEL：03-3783-5511
八雲学園中学高等学校 東京都目黒区八雲2-14-1	**横山 孝治 先生** TEL：03-3717-1196	**金沢工業大学国際高等専門学校** 石川県金沢市久安2-270	**志鷹 英男 先生** TEL：076-248-1080
東洋大学京北中学高等学校 東京都文京区白山2-36-5	**井出 秀己 先生** TEL：03-3816-6211	**(株)私塾界** 東京都豊島区東池袋1-39-1三善ビル3F	**山田 未知之 様** TEL：03-3987-0838
大森学園高等学校 東京都大田区大森西3-2-12	**三浦 圭 先生** TEL：03-3762-7336	**デザインオフィススズキ** 千葉県柏市柏687-6	**鈴木 学 様** TEL：04-7164-8276
東京成徳大学中学高等学校 東京都北区王子6-7-14	**大矢 忠和 先生** TEL：03-3911-5196	**(株)POPER** 東京都中央区日本橋茅場町1-13-21-4F	**栗原 慎吾 様** TEL：03-6265-0951
日本工業大学駒場中学高等学校 東京都目黒区駒場1-35-32	**河村 文夫 先生** TEL：03-3467-2130	**(株)塾と教育社** 東京都千代田区飯田橋4-4-8-310	**加藤 麻由美 様** TEL：03-6265-6855
青稜中学高等学校 東京都品川区二葉1-6-6	**伊東 充 先生** TEL：03-3782-1502	**(株)ブックモールジャパン** 埼玉県戸田市上戸田4-2-33 日教販戸田センター	**撹上 聡 様** TEL：048-447-7457
東京女子学園中学高等学校 東京都港区芝4-1-30	**鶴内 小百合 先生** TEL：03-3451-0912	**教育開発出版(株)** 東京都杉並区下高井戸1-39-12	**糸井 幸男 様** TEL：03-3304-5291
駒込中学高等学校 東京都文京区千駄木5-6-25	**河合 孝允 先生** TEL：03-3828-4141	**(株)クロノクリエイト** 東京都渋谷区神宮前5-52-2-2F	**添田 大亮 様** TEL：03-5468-6986
愛国中学高等学校 東京都江戸川区西小岩5-7-1	**高橋 英夫 先生** TEL：03-3658-4111	**(株)声の教育社** 東京都新宿区新小川町8-15	**中村 千尋 様** TEL：03-5261-5061
安田学園中・高等学校 東京都墨田区横網2-2-25	**藤村 高史 先生** TEL：03-3624-2666	**アロー教育総合研究所** 東京都千代田区神田小川町3-8-5F	**古川 貴央 様** TEL：03-3259-2851
日本音楽高等学校 東京都品川区豊町2-16-12	**伊庭 崇 先生** TEL：03-3786-1711	**(株)サンケイワーク** 大阪府大阪市福島区玉川2-8-4-3F	**橋本 光幸 様** TEL：06-6445-0688
立正大学付属立正中学高等学校 東京都大田区西馬込1-5-1	**今田 正利 先生** TEL：03-6303-7683	**(株)インフィニティライフ** 東京都新宿区四谷4-3 エクシーナ四谷1001	**高木 直人 様** TEL：03-6380-5894
上野学園中学校・高等学校 東京都台東区東上野4-24-12	**川村 翼 先生** TEL：03-3847-2201	**モノグサ(株)** 東京都千代田区飯田橋3-8-5 住友不動産飯田橋駅前ビル7階	**中村 大志 様** TEL：090-1657-8610
二松学舎大学付属高等学校 東京都千代田区九段南2-1-32	**車田 忠継 先生** TEL：03-3261-9288	**デジタルハリウッド(株)** 東京都千代田神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティアカデミア4F	**西 彩音 様** TEL：03-5289-9267

私塾ネットセンター広報 ｜ 発行：田中宏道、編集長：中村直人、制作：谷村志厚、鈴木 学

全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

第78号
（2022年7月号）



クレマチス　ドクターラッペル（キンポウゲ科クレマチス属）

全日本私塾教育ネットワーク
理事長：田中 宏道（LAPIS鎌ヶ谷） TEL：047-443-1010
センター事務局：長江 広紀（英数学院） TEL：044-788-7556
〒211-0044 神奈川県川崎市中原区 新城5-9-25　英数学院内
https://shijuku.net

理事長コラム

田中 宏道（LAPIS鎌ヶ谷・千葉県）

私塾ネットの理事長として壇上で初めてご挨拶させていただきました。6月22日（水）全国学習塾協同組合（AJC）設立30周年記念式典でのことです。

「（私塾ネットを紹介。そしてその後に）最近やんちゃな子が少なくなりました。コンビニでたむろしている子もいません。飼いならされてしまいたくましさがない子どもたち。日本の将来が心配です。人のためにぐっと踏ん張れる子ども、目の前のことにかじりついていける子どもを育てたい。公教育は変革に非常に長い時間がかかります。時間がかかるからと言ってあきらめる訳ではありません。公教育にそれを求め続けることは重要です。しかし僕たちの目の前にいる子どもたちには間に合いません。目の前の子どもたちをたくましく育てるのは我々民間教育の大きな仕事です。

正倉院。1250年間、時（とき）の権力者に破壊されたり奪われることなく、隣の東大寺大仏殿は3度も焼き払われているのに正倉院は焼かれていない。正倉院がそのまま残っていることはつい先日まで当たり前としか思っていませんでした。大昔から日本人は、天皇の宝物には触れてはいけないと理性ではなく感性で感じていた気がします。世界の遺跡や宝物。大英博物館。ピラミッド。ロシアのエルミタージュ美術館。征服により焼き払われ奪われ、税金で贅を尽くした宝物でいっぱいなのとは大違いの日本です。

一度も奪われておらず（実際は3回コソ泥に入られた）、1250年間もそこにあること自体が世界の奇跡です。これを当たり前と考える日本人の存在自体が世界の奇跡と言っても過言ではないでしょう。

日本人が素晴らしい存在であることを子どもたちに伝えたい。素晴らしい日本を永続させたい。そして素晴らしい日本の心を世界に広めたい。すばらしい日本人として他人に手を差し伸べることができるたくましい子どもたちを育てるのがわれわれ教育人の使命だと考えております。営々と塾業界を築いてこられた先輩方、そしてここにいらっしゃる皆様と共に学びながら教育をこれからも一生懸命にやってまいりたいと存じます。今後の私塾ネットも今まで同様にどうぞよろしくお願い申し上げます。AJC30周年おめでとうございます！」

このように言いたかったのですが…授業のようにシナリオがあるものを話すことは得意でも、もともとは口下手、日頃は無口。もっぱら聞き役の私は人前でアドリブで話すのが大の苦手なんです。とほほ…。

最初の私塾ネットの紹介は忘れるは…何を言っているか支離滅裂だは…1日落ち込んだ22日でした。慣れぬ理事長職。まだまだ修行中です。

さて夏です。みなさまは子どもたちや親御さまに更に喜んでいただけるように夏をアップグレードされている真っ最中かと存じます。以前よりもよい夏になるように私もこの夏頑張ります。みなさまのご活躍を祈念しております。

別件。1学期に1回「全国藩校巡り・偉人と教科書巡り　アーンド塾見学」を考えております。まずは夏明け9月25日（日）26日（月）。栃木の日光にて「二宮金次郎を学ぶ会」を開く予定です。ぜひみなさまの夏のお話しを聞かせてください。日程は動く可能性がありますが、空けておいてくださいね。そして来年の全国研修会@東京は4月23日（日）です。この日も空けておいてくださいね！

（余談）正倉院の宝物。シルクロードを伝わって来たと教わりました。材料を調べてみると日本製のものも多いという研究結果も出てきたようです。教科書はこれからどうなりますかね。注目です。

今回も、神奈川のSTEPさんに教えていただいた保護者様宛メール（週2回、火曜・金曜に配信しております）を一部ご紹介します。ご参考になれば嬉しいです。

6月21日㊋ 保護者さま宛メール 第404号

<字が汚い…>

字を雑に速く書く子は頭の回転や目移りも早いです。速くて確実であれば問題ありません。しかし間違えが多いようであれば、「わかったわかった」と早合点している場合が多いです。**字をゆっくり丁寧に書くと落ち着いて物事に向かうことができます。最後まで話を聞けたり、最後まで丁寧に読める力も高まります。**今ラピスで一生懸命に取り組んでいることは、文字を下の線にくっつけて書くことです。できていなければすべて書き直しをさせるときもあります。線から浮いていたら×。線からはみ出していたら×。こうやって落ち着いて物事に取り組む姿勢を養おうとしています。時間はかかると思いますが、うまくいきますように！

ラピスの保護者宛メールは、今後メーリングリストでの定期配信を予定しております。まだ未登録の方は、私塾ネットWEBサイト「お問い合わせフォーム」よりぜひご登録ください。塾情報はどんどん共有しましょう！

エリア通信

エリア東北代表　佐々木 康（やまばと学習館・青森県）

私事ではありますが、5月末に初めて講演をさせて頂くことになりした。対象は県外のテスト業者様のユーザーの方達で、約40名の塾長様方。形式はオンラインで当塾のコロナ禍の活動をまとめて「地方都市による学習塾経営」と題して60分、お時間を頂戴しました。この講演の中でお話をさせて頂いた点は2点、「小規模事業持続化計画の活用」と「オンライン指導」についてでした。

小規模事業持続化計画については平成26年に初採択され、新聞折込チラシに役立てたのですが、事業計画の書き方などに大きく工夫を加えることで、平成29年から3年連続で採択されプロジェクター・防犯カメラ・空気清浄機を設置することができました。またオンライン指導については令和2年4月、青森市ではタブレットの小中学生への配布とオンライン指導が全国の中でもかなり早くスタートしたことから当塾でも急ピッチで準備を行い、全塾生完全在宅でのオンライン指導が可能となりました。様々なアクシデントが起き、生徒や保護者の皆様にご迷惑をおかけしたこともありましたが、トライ＆エラーの繰り返しから少しずつ状況を改善し、現在でも非常時の在宅指導の他、英検2次試験対策や面接対策など、対面指導と併用して活用できることにはどんどん活用しているところです。

特にパソコン操作に強いわけでもなく、準備資金が潤沢にあるわけでもない、そして情報の少ない地方に住みながらその時々に必要な機材を準備し、オンライン指導を開始できたのは、私塾ネットでお世話になっており先生方からのアドバイスや力強い応援のお言葉でした。特にエリア関東代表の渡辺先生には相談に乗って頂き、大変有効なアドバイスを頂いたり、また研修会等々お誘いを頂いたりと、大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

まだまだ感染者が報告される日々ですが、それでも以前よりも行動が出来るような世の中になってきました。コロナが収まり、これまで通りの集いの場が元通りできたときには、少しでもこれまで一生懸命取り組んできたことをご報告できればと思い、夏に向けて頑張っていきたいと思う次第です。

エリア関東代表　渡辺 浩（人間教育渡辺塾・東京都）

梅雨があっという間にあけてしまい、6月だというのに連日猛暑日が続いております。電力も逼迫している状況なので、可能な限り節電に取り組んでおります。

さて、コロナウィルスも3年目となり、東京では2000人台の新規陽性者が出ておりますが、一方で重症者の数は一桁、歯がゆい思いで日々生徒たちと向き合っています。そんな状況ではありましたが、私塾ネットエリア関東では、春（時期的には既に初夏ですが）の研修大会を6月19日（日）に会場参加とオンライン参加のハイブリッドで行わせていただきました。昨年はコロナ禍という事もあり、主に動画活用を中心とした研修会を行ってまいりましたが、今回は「入試問題から塾が取り組むべき課題を共有しよう」という事で、関東圏の公立高校入試分析や、大学入学共通テスト2年間を比較して、何がどう変わったのか、また、データの確認だけでなく、進学研究会様やSRJ様をお招きし、独自の入試分析から今後の塾の課題を発見していくといった内容でした。当日は他団体様の研修会や、定期考査前といった大変お忙しい時期にもかかわらず、50名近くのご参加を頂きました。ご参加くださいました先生方にはこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

当日の内容で特に盛り上がったのは、「入試問題の文字数比較」と「Vもぎでの作文の採点方法」ではないでしょうか。毎年の使用している文字数の比較では、どの入試でも文字数増加傾向が見られ、ただ、読むだけでなく、『読解力』も求められるものになっている事がご確認頂けたと思います。また、Vもぎでの作文採点は意外なものでした。ご参加された先生方におかれましては、あの日の研修内容はどうか外部に漏らさぬようお願いいたします。

そして、秋にはその『読解力』に関しての研修会を企画しております。「リーディングスキルテスト」や「1分読みトレ」など、読解力に関する様々なツールが世に出てきています。研修会でもお伝えした通り、これから学習塾が取り組むべき課題はやはり『読解力の育成』であることは間違いないと思われます。脱パターン化を図り、本当の思考力を育てる塾、これが私たちが生き残る唯一の手段であると確信します。

秋の研修大会を是非お楽しみに！

エリア中国代表　西本雅明
（パワーゼミ西本・広島県）

さて、福山市の学習塾の近況報告から始めます。今回は2つ報告があります。

■一つ目（一般社団法人の設立）

公益社団法人全国学習塾協会の安藤会長に、設立記念講演をしていただいた一般社団法人福山子ども育成協会【みらいの種】が設立登記されました。この団体の目的は①子供たちの健全な成長への貢献、②経済格差がもたらす教育格差の是正、③教育現場における官民のシームレスな連携と協働、④指導法の研鑽と教育情報の共有、⑤自然災害等における緊急時の教育機会の提供、⑥教育サービス業界の社会的質の向上です。民間教育事業者と福山市がシームレスに協働することで、子供たちを取り巻く教育環境をより良いものにしていきたいということです。会員は学習塾をはじめとして、スポーツ、芸術、伝統文化などの指導者や、この団体に賛同する一般企業等です。第1回目の企画は臨済宗の若いお坊さんたちによる（茶道・華道・座禅体験）なのだそうです。会員の活動を告知したり教育委員会等への橋渡しなど、地道な活動をつづけながら認知度を高めていきたいと考えていますが、とりあえず会員の皆様と飲み会！写真は坂本直子さん（アテネオリンピック日本代表）と、超楽しそうな西本のツーショット写真です。

■2つ目（ひろしま高校進学フェア）

私塾ネット中国はメンバー間の情報交換と研修を主としていますが、地元の任意団体は子供たちの学習や塾経営に関する事業が主な活動になっています。6月26日は広島駅地下通路の広場（エールエール）をお借りして、広島県学習塾協同組合主催で「ひろしま高校進学フェア」を開催しました。参加生徒数1000人の想定でしたが、1500人ほどが参加してくれました。保護者も入れると2倍近い数になるそうです。広島のプロバスケットチームの観客動員数が1700～1800人程度なので「ドラゴンフライズ」には勝ったようです。

（余談1）何も考えず塾業を楽しんでいた若いころは、夏期講習の大変さよりも、長いお休みが頂ける夏を心待ちにしていたように思います。しかし今では若い職員たちから、「こんな時間割では全員死んでしまう！」「もっと休ませろ！」「働き方改革だ！」と有言無言のプレッシャーを与えられています。故山口先生からは「教えることが好きで塾をやらせてもらっているんですから、文句を言っちゃだめですよ」と聞かされ、城先生からは「なんでも楽しむんです」と教えられて育ったつもりの僕ですが、僕の口から、そんなことは若い職員たちに伝えられません。多分一生無理です。

（余談2）「源くん」がついに入塾してくれました。今まで「平くん」は数人の塾生が在籍していましたが、「源くん」は初めてです。これで源平が揃ったことになります。紅白で争う運動会の場合、なぜか「平くん」はいつも紅組。絶対に忖度が働いています。はたして「源くん」はどうなのか？白組だったら良いのにね。今度聞いてみようと思います。

エリア四国代表　小野 昭
（小野塾・香川県）

5月12日、オークラホテル丸亀にて私塾ネット四国の総会が開催されましたのでご報告いたします

（1）参加13塾・14名。谷本先生・寺島先生・湯口健司先生・田村純子先生・山田先生・近藤先生・白石先生・神野先生ご夫妻・木内先生・丸橋先生・熊野先生・小野とゲストオブザーバーの西川先生です。（会員名簿順）

（2）昨年度会計報告、（3）本年度会計予定

本年度四国の会費は、本会合においては徴収しませんでした。後で記載の、秋の研修会が実施できたならばその時に実費徴収いたします。

（4）昨年度活動報告、（5）本年度活動予定

・10月30日（日）秋の研修を予定（コロナ禍しだい）
・場所 未定　愛媛の白石先生にお願いしました
・内容 未定　愛塾連様との共同企画になりそうです

（6）本年度の会員確認　本年度活動会員

①啓真館②ユウリ進学塾③学習院セミナー④小野塾⑤湯口塾⑥エイブル⑦山田塾⑧稲伸ゼミナール⑨文化の森スクール⑩進学センタ英進舎⑪白石塾⑫神野進学教室⑬そがめ塾⑭丸橋塾⑮映進の合計15塾（会員名簿順）

本年度から休会の方…①川原塾　川原先生②愛真塾　佐々木先生③木内塾　木内先生の3塾です。また、木内先生はご高齢にも関わらず総会にもご出席いただき満場一致で、名誉会員をご承諾いただきました。よって次回の名簿作成の時に名誉会員への登録をお願い申し上げます。以上概略を報告いたします。

さて、今春の香川県公立高校入試の結果報告をさせていただきます。一般入試は3月8日学科試験、翌日に面接試験、入学定員は5961名で昨年の5936名と比べて25名の増加です。高松、観音寺などで定員の増加があり、小豆島、三本松などで定員が減少しました。競争倍率は進学校である高松高校が1.23倍、丸亀高校が1.06倍となりました。どちらも昨年より倍率が低下しました。香川県下の最高倍率は高松工芸高校美術科の1.92倍でした。

問題傾向としましては、理科・社会を中心に資料が多く用いられ、問題文も全体的に長くなってきています。数学では規則性に関するやや複雑な問題、理科では実験における目的の理解をたずねるような問題が出題され、単純な暗記ではなく目的や意図を理解することが必要となってきています。英語では教科書改訂により出題範囲になった仮定法が出題されました。国語の作文ではクラスメイトの意見につづいて発表する意見を書かせる問題、英作文では複数の選択肢から自分の意見を選んで理由を答える問題で、いずれも昨年と同様の形式でした。

一昨年より実施されているインフルエンザ等での欠席者に対する追検査は3月12日・13日に実施され、新型コロナウイルスによる欠席者に対する追検査は3月23日に実施されることになりました。また、当該生徒が濃厚接触者の場合は一定の要件のもと、追試ではなく別室での本試験受験が実施されることになりました。以上四国のエリア報告とさせていただきます。くれぐれも夏真っ盛り、どうぞご自愛なさってくださいませ。

賛助会員紹介

＜東京都港区＞

東京女子学園中学校高等学校　―2023年4月、共学化―

川﨑雅通

全日本私塾教育ネットワークにご加盟の先生方には、日頃より大変お世話になっております。私、港区芝にあります東京女子学園中学校高等学校の川﨑雅通と申します。東京女子学園は1903年に創立し、2023年に創立120周年を迎える女子校です。

学校の所在地が東京のため、私塾ネット関東の先生方とは折に触れてお話しさせていただき、大変感謝しております。今回の執筆にあたり、これまでを振り返ってみました。現在の私塾ネットの先生方に初めてお会いしたのは、2000年ころの私塾ネットになる前の3団体(全塾連、PTF、日私会)の研修会でのことと記憶しています。その後に現在の団体が立ち上がり、徐々に関わり具合が深くなって参りました。また、春や秋の研修会にも参加させていただき、その都度新たな刺激を受けるとともに先生方の熱心さに感銘しておりました。また研修会後にはいろいろな先生方との交流の場があり、毎回話が盛り上がり楽しい時間を過ごさせていただきました。中でも記憶に残っておりますのは、2014年の4月13日の大型サロンバスでのバスツアーです。都内近郊の夜景を見て回るものでしたが、このバスに同乗されていたベテランのバスガイドさん?が大変流暢に、またウィットの富んだご案内をしていただき、大変楽しい時間を過ごしたことを鮮明に覚えております。この様子は、私塾ネット広報の第46号に掲載されています。

さて、ここで本学園のお話しをさせていただきます。現在、東京女子学園では、120周年の周年事業として新校舎を建設しております。2020年の1月ころより体育館を含めて4棟あった校舎の3棟を解体して、新たに12階建ての校舎を建設しております。完成予定は、2022年11～12月頃となります。また、本学園とは別の法人のインターナショナルスクールも同居することとなりました。現在、具体的な業務提携内容には至っていませんが、両校の在籍生にプラスとなる連携をしたいと考えております。また、120周年を契機に、グローバル化社会や情報化社会の拡大といった多様な社会の変化に応えていくため、これまでの女子教育を根幹とし男子生徒を受け入れ、多様な変化に富む社会で貢献できる人材をより多く輩出できるようにと考え、2023年4月より男女共学化を推進することと致しました。共学校としての新たな歴史を刻むため、校名も「芝国際中学校高等学校」と一新します。これまでの建学の精神である「教養と行動力を兼ね備えたひと」、また教育理念である「人の中なる人となれ」という伝統とともに、今後の教育活動を進めて参ります。新たな「芝国際中学校高等学校」の教育の方向性は、「一人ひとりの可能性を拡張させるための新しい学力を養いながら、世界標準の学びで多様な価値観をもつ人たちとともに、自分の夢を実現できる力を育てる」ことにあります。これまでの学園が行って参りましたグルーバル教育やデザインサイエンスに加えて、STEAM教育、アントレプレナーシップなども発展させて参ります。また、生徒の自立を尊重するこれまでのスタンスに加えて、生徒の手によって創る学校にしていきたいと考えております。

海外研修

学校法人東京女子学園は、新校「芝国際中学校高等学校」を生徒、教職員、保護者、卒業生とともに発展させ、「港区芝の地に素晴らしい学校がまた一つできた」と多くの方々に認めてもらえるよう精進して参ります。今後も私塾ネットの先生方に熱く応援していただけるように邁進して参ります。これからもよろしくお願い申し上げます。

ICT教育

東京女子学園
https://www.tokyo-joshi.ac.jp

＜東京都東久留米市＞

自由学園中等科・高等科　―本物の学びと「よりよい社会」の実現―

女子部校長 更科 幸一

1921年、教育を通じて新社会の実現を目指して創立されたのが、自由学園の始まりでした。より良い社会をつくるための学校を目指しており、毎年入学式では新入生に「あなた方は自由学園をよりよくするために入学を許されました」という言葉が送られます。学校という社会をよりよくする、社会の一員としての自覚をもって、新生活を迎えてもらうためです。

■本物から学ぶ：自由学園の本質的な学び支えているひとつが、緑豊かで広大なキャンパスです。幼稚園児から最高学部(大学部)生までが同じ門をくぐり、4000本以上の樹木、開放的な大芝生、菜園、小川。校内に広がる自然は“本物”です。さらに、校内のみに留まらず、埼玉県飯能市など国内3箇所にある山林や那須の農場も学びのキャンパスです。その中でも、飯能市にある名栗植林地では市や地域の方々と生徒たちの手で70年以上にも渡って森林づくりを続けてきました。植林・育林・枝打ち・間伐して、麓の製材所で加工した後に自分たちで生活の中で使う物の材料にもなっていきます。SDGsの考え方が広まり、環境問題も注目を集めるようになってきましたが、育てた木を暮らしに活かすことも、育てた野菜や豚の命を頂いて自分たちで調理をして食べることも、人と自然の命のつながりを本物を通して学んできた自由学園の生徒たちは、持続可能な世界の土台が自然の中にあるという事を本質的に理解しているのです。様々な社会課題と向き合うために必要なこうした本物の体験が、自由学園では100年前から行われてきたのです。

■隣人に思いを寄せる：コロナ禍で自身の生活も制限される中、より助けを必要としている人たちに思いを寄せた生徒たちが、池袋でホームレスの人たちにおにぎりを配る活動を始めました。他者のために動くことができる自由学園のDNAは、脈々と受け継がれてきたものです。創立から2年後に起きた関東大震災。夏休みを終え、新学期が始まる予定でしたが、始業式を遅らせ救援活動を行っていました。集めた衣類で布団を縫い、休業中の小学校で臨時授業。2011年の東日本大震災の際も、お手製のパジャマやお菓子を持って仮設住宅を訪れ、養殖作業の支援も行ってきました。時代が変わりゆく中で、その時に必要なことを自分で考え行動する、という姿勢が、こうした主体的な活動に現れています。またそれが「自分さえ」ではなく、隣人を思いやることができるのも自由学園の学びが培ってきたものであり、100年継承されてきたものです。

■伝統の100年と新たな100年：「よりよい社会をつくる」ことを考え続ける支えになっているのが、「自治」です。食事作り・食器洗いに始まり、行事の企画・運営、樹木の世話に至るまで、生徒の自治を尊重しています。自分を生きるということは、自分の生活を自分でることだと、創設者は考えていました。そして、それは自分ひとりではできないため、協同社会の必要性を訴えていたのです。友人、クラスメート、学校など、大小さまざまな社会の中で、時にはぶつかりながらも、根底にある「よりよくする」ということが、社会性を身につける訓練となっています。学校生活の中で、様々な能力や性質の人が協同することには、たくさんの学びがあります。その経験が、時代ごとの社会課題に向き合う糧となり、競争ではない協力の新しい社会をつくり出す原動力となっています。

新入生の木工作で使う木材を先輩たちが搬出。
2017年には、植林地のヒノキで「自由学園みらいかん」が建築され、主に12歳以下の子どもたちの活動の場として利用している。

東日本大震災の翌年から毎年、宮城県石巻市の十三浜へ訪問。
漁師さんのお手伝いや仮設住宅の掃除等の震災支援を続け、現在は被災地との交流として学びを続けている。

150個の自作のおにぎりを抱えて池袋へ向かう。
ホームレス状態にある方々へ、おにぎりを配る夜回りを月1回行っている。
現在は60人ほどの中高生が参加している。

大切にされてきた伝統が故、形式の継承にこだわり続けてしまった部分もあると思っています。創立100年を迎えたここで、創立者が当初謳っていた「国際共生」に立ち返り、自由学園が次の100年に掲げるのが「共生共学」です。その一歩として2024年に男女共学を予定しています。自分らしく生きるために、性別や年齢、国籍などを超え、共に生きる社会の実現を目指します。100年経っても在り続けられるのは、自己変革できる強さを持っているからだと思います。「なぜ、どうして」と常に疑問や違和感を持ち、たくさんの体験が育てた自分らしさで、これからも「よりよい社会」をつくります。

自由学園

https://www.jiyu.ac.jp

＜東京都豊島区＞

株式会社私塾界　―業界の41年を見てきた私塾界―

代表取締役 山田 未知之

業界の最前線で活躍されるみなさまに、最先端の情報を届け続けます

1981年に創刊した『月刊私塾界』は、おかげさまで2021年に創刊40周年を迎えました。本誌を創刊したのは私の父、山田雄司です。実は本誌創刊の３年ほど前の1978年に学伸社という会社から『塾たいむ』という業界誌が発行されていました。学伸社は、栄光ゼミナール（当時は研修学院。80年に株式会社栄光に社名変更）の創業者である北山雅史さんが学習塾教材制作・販売の会社として設立した会社で、北山さんの「業界誌のない業界なんてたいした業界じゃない」という思いから、塾たいむのプロジェクトがスタートしました。その初代編集長に私の父が就任しました。

それからおよそ３年にわたって父は塾たいむの編集長を務めましたが、発行元が栄光ゼミナールの子会社であったことから、取材に行く先々で経営者のみなさまから「どこのスパイだ?」、「塾の紐付きでやっていたら業界誌とは言えないよ」といった厳しいお言葉を頂戴することも多かったといい、北山さんに相談して円満に退社し、共同創業メンバーの三門文男さん、堀田容子さんらと新会社を立ち上げ、『月刊私塾界』を創刊したのです。そのようにして池袋のわずか５坪足らずの小さな事務所から本誌はスタートしました。

それから41年、1度は移転しましたが創業の地、池袋で今もなお一号も欠かすことなく、毎月本誌の発行を続けています。今月発行した2022年7月号で通巻495号、来年の1月号で500号を迎えます。

そんな父も創刊30周年を目前に控えた2010年7月19日、59歳という若さで他界しました。本人もそんなに早く死ぬとは考えていなかったようで、後継者は決めぬまま、もちろん遺書などもなくあまりに突然に亡くなってしまったものですから、それから2年余りは社内ではいろんなことが起こりました。私は2005年から私塾界に入り、私塾界の仕事を手伝うようになっていましたが、父が亡くなった当時は若干32歳でまだまだ業界の知識も乏しく、周囲の方々の奨めもあり、現在株式会社塾と教育社の代表をされている加藤麻由美さんが私塾界の社長に就任されました。

ところが当時の私の身勝手な行動もあり、2年ほど経った2012年9月に加藤さんをはじめ、私以外の社員が全員お辞めになり、加藤さんたちは新たに『塾と教育』を創刊されることになりました。それまでまともに文章も書いたことがない私は、2012年10月号から突然『月刊私塾界』の編集長に就任し、今も編集部を支えてくれている仲間とともに、よちよち歩きながらなんとか絶やさず発行を続けて参りました。そんな私も編集長に就任して間もなく10年を迎えようとしています。

この10年を振り返ると、この塾業界も様々な変化がありました。私塾界にとって一番大きな変化は、私が編集長に就任した直後の2012年12月に発足した第二次安倍政権の文部科学大臣に下村博文代議士が就任されたことです。それから教育再生実行会議が設立され、様々な教育改革が進められることになったので、文科省との塾業界の距離もだいぶ縮まりましたし、国が進める改革に対して民間教育サービスがどのように対応していくのか、ということを取材していくことで、私自身も多くのことを学び、新たな繋がりもたくさん持たせていただくことができました。

そして、これから2030年に向かってまたさらに日本の教育は大きく変わろうとしています。そして少子化はより一層加速していきますから、決してこの業界にとっては順風と言える状況ではありません。そんな時代を乗り切るためにも、これからも本誌の発行を通して、業界の最前線で活躍されるみなさまに最先端の情報を届け続けて参る所存です。

私塾界

https://www.shijyukukai.jp

私塾ネット関東 春の研修会報告

[2022.6.19]

文：私塾ネット副理事　中村直人

2022年6月19日（日）午後1時より、私塾ネット関東主催の春の研修会が、季節外れに暑い東京御茶ノ水のTKPガーデンシティ御茶ノ水カンファレンスルーム3Eにて開催された。コロナ下ということもあり、会場とZOOMでのハイブリッド形式で行われる。テーマは「首都圏の公立高校入試分析から見えてくる子どもたちにつけておきたい学力」。
ご講演者は、（株）SILAB 白井孝明様、（株）SRJカスタマーサクセス事業部 田尻涼様、（株）進学研究会編集部部長 尾下敏史様 のお三方。白井先生を中心に、45ページ重量級の手元資料を駆使しての講演を進めていただいた。

□近年、公立高校入試において読解の重要度が高まっていると言われている点について。

実際にどれくらいのことが起こっているのか。なんとなく文字数が増えているなと感じている方たちに、その正体を具体的なデータに基づいて明らかする。またその読解の重要性の背景に何が影響しているのかを示していく。先に結論を言えば、高大接続改革あたりが中心にある。具体的に言えば共通テストで、これが新しいテストの学力観や作問の方法論を提示しているものと考える。共通テストを土台にして、今の高校入試にどんな影響が出ているのかを示していく。出題者側が生徒側にテストにおいて何をしてもらおうと考えているのか。

■2022年公立高校入試 結論・全体的課題

1. ちゃんと理解しろ！ 2. ちゃんと読め！ 3. 読んだら考えろ！

身もふたもないが、✓全国的・全教科的なボリュームアップ傾向✓読解重視＋情報化による思考判断力（＋記述力）重視✓～条件反射で解くことからの脱却等が根底にある。

▶読解力を中心に【思考力・判断力・表現力】をバランスよく求める流れがある。

■なぜそうなった？

読解力・情報処理力は、現代社会が求める実践的学力であるから。

✓大学入試で求められる～「共通テスト」の傾向
✓高校の教科書が変わる～「情報Ⅰ」必須化・「論理国語」登場ほか
✓高校入試が変わる～中学入試も変わる 特に「難関向け」部分で

ここから首都圏、東京・神奈川・千葉・埼玉の2022年度入試の各教科のデータをもとに詳細な解説がありましたが、紙面の制限もありとても書けませんので省略。首都圏では国語の文字数が増加している。例えば、3年前との比較で、神奈川17310→19047、千葉8581→10662、東京14771→15059、埼玉11696→12260。解くにあたって読み返す分量を勘案し1.5倍とすれば、一番少ない千葉でも作文用紙26枚分に当たる。SRJさんによれば、様々な試験で試験時間全体の約6割が思考＋解く＋記入にかかる時間ということだ。千葉の国語で、①読書速度500文字／分※日本人の平均スピードですと試験時間50分で約12分足らず。②読書速度800文字／分※成績中・上位者に多いスピードですと、ぎりぎり。③読書速度1200文字以上／分※成績上位者に多いスピードだと7分余裕。ボリュームアップした文章の意味を取って速く読む力が求められている。国の新指導要領では、思考力・判断力・表現力を新しい時代を生きる力としている。表現力のためには思考力・判断力が必要で、良い思考・判断をするためには、多量の情報を速く正確に読み解くインプットする力、速読力・読解力が基本となる。SRJでは、それらに対する各講座が用意されている。最後に6月22日新刊の「1分読みトレ！」という速読解トレーニングの本を紹介された。

共通テストにおける英語・国語の難易度がどこから来るか。その分析。2年間の分析から、英語リスニング以外は前年の類題はほとんどないなど、脱パターン化の傾向や2025年大学入試の予測、高校受験に共通入試が影響している点など具体的詳細に話される。

特に首都圏では非常な影響力を持つ進学研究会のVもぎであるが、その作問の仕方や作文の採点基準について尾下様が本日の話と関連させて話される。当然各都県の入試問題を分析・予想して模試の作問をするが、最初に解答ありきとのこと。そして白井先生が話されたと同様な設問・選択肢の種々の難易化テクニックを使い作成されるようだ。その際ポイントを明確にして採点のしやすさも考慮するとか。作文の採点も平成27年の東京の入試で開示された部分点の基準を参考にしている。Vもぎではどうやって基準を決めているかも話されたが、これは書かない。Vもぎの問題の2つの解答例を、条件・注意事項をふまえ会場の参加者に採点させる。尾下様の採点例も公表。それに対しての会場の質問に答える。

共通テストを受けたものは、一様に時間がなかった・しんどかったと言う。設問・選択肢の複雑化・非パターン化が原因であろう。読解の対策として白井先生は、自分でルールを決めて重要な箇所・情報に印をつけること、設問を音読することをすすめられた。そして、ご著書の「究極読解」や夏に出る「読解入門」などを紹介され、講演を終わられた。

アロー教育総合研究所 高大接続総会の参加報告

[2022.5.31]

文：私塾ネット副理事　中村直人

2022年5月31日（火）午後1時より、ベルサール秋葉原にて2022年高大接続総会が開催された。参加者には、『大学入試解体新書2022』がプレゼントされた。各プレゼンテーションコーナーには整理券が必要。会場は、ほぼ満席の盛会であった。

第1部

1.明治大学/立教大学/中央大学/法政大学大集合!パネルディスカッション「次の一手」

田嶋裕所長司会による各大学担当者「次の一手」の話し合い。中央は、法学部が八王子から都内茗荷谷新キャンパスへの移転。明治大学では、新教育棟「和泉ラーニングスクエア」完成、2025年生田キャンパス再編。立教大学は、2023年スポーツウェルネス学部新設。コミュニティ福祉学部再編。法政は、国内大学との交流学生制度・千代田区近隣4大学との単位互換制度・フルオンデマンド授業による数理・データサイエンス・AIプログラム・その他。最近はどの大学も学生のデータサイエンスへの欲求が強いようで、理系・文系を問わずそのプログラム充実が求められているようだ。

2.「日本の大学で世界水準の学びを！『国際教養学部』新設」

武蔵大学 国際教養学部長 東郷賢氏 世界水準で学び抜く覚悟はあるか、という新聞広告を打った。要するに、海外の学生と同じように勉強してみませんかということで、国際教養学部を始めた。世界レベルの経済・経営学を学びロンドン大学の学位取得を目指すEM専攻と英語と異文化体験を通してグローバル人材を育てるGS専攻に分かれる。両大学の学位取得可能なPDPプログラムにより、3期生では11名ロンドン大学の学位を取得した。その卒業生たちは、Infosysやアクセンチュアなどの世界の一流企業に就職している。

3.「どう進める?新指導要領受験対策?変わるもの、変わらないもの」

駿台教育研究所 石原賢一氏 ※後述

第2部

1.「研究最前線レポート～いま研究室で～」

新潟医療福祉大学 近藤至氏 看護・医療・リハビリ・栄養・スポーツ・福祉・医療ITの総合大学。リハビリテーション学部の中に新しく鍼灸健康学科ができる。東日本で初の4年制の鍼灸学科を持つ大学となる。各学部で国家資格をはじめとして各種資格を取得させる。各専門職が協力し合うチーム医療・チームケアを学べるプログラムがある。またトップアスリートや指導者の育成も行っている。総合医療系の大学として、スポーツと医療・福祉を融合した先端的研究もしている。数例の研究を紹介。その関連分野の研究力は、全国4位を誇る。2021年求人実績は、学生一人あたり単純計算で、約24.6人と高く全国各地からの求人を確保している。

2.「データで読み解く“年内入試”入学者の実態」

女子栄養大学 伊吹憲昭氏 全国的に、年内入試が増えてきている。本学内の年内入試の比率は、81.2%となり初めて8割を超えた。来年度の入学者選抜は、次の3通り。①総合型選抜 ②学校推薦型選抜 ③学力試験による一般選抜 ①②が年内入試。1年次の成績と卒業次の成績の3年間の推移を比べてみると、✓1年次は、総合型選抜と公募推薦の成績がやや低い。✓卒業時は、総合型選抜の成績が大きく上昇✓指定校推薦と一般選抜からの入学者の成績は、入学時も卒業時も高く推移している。

本学での国家資格及び教員採用と入学者選抜の関連結果を見ると、「年内入試」入学者の実態は①年内入試での入学者は、「目的意識」が高い傾向②年内入試の入学者は成績の伸びしろが大きい③入試区分による「国家資格合格率」の差はない！管理栄養士の国家試験では、全国一位合格率99.6%。「何入試」で合格したのではなく、「何を学び」に入学したのかを大切に育てていく。

3.「新指導要領における大学入試共通テストの検討状況」

大学入試センター 小野賢志氏 ※後述

第3部

会場に4つのワークショップのコーナーが設置された。※後述

①「『教える』という仕事～変わる教師像～」
教育系YouTuber 葉一氏

②新教育指導要領SOS!「どうする『情報』」
工学院大学附属中・高等学校長 中野由章氏

③新教育指導要領SOS!「どうする『歴史総合』」
日世教育研究社 犬丸征一郎氏

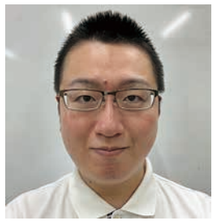
④新教育指導要領SOS!「どうする『公共』」
ドルトン東京学園中・高等部 大畑方人氏

第4部 紙面の関係で省略。 ※後述

※アロー総研所長・田嶋裕様のご厚意により各プレゼンテーションコーナーのアーカイブ動画のURLを、後日私塾ネットのメーリングリストを通じ共有させていただける許可をいただきました。

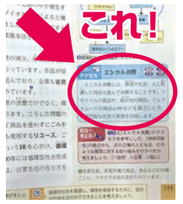
エリア報告 北から南まで

報告　村戸 公博（あおば伸学塾・青森県）



あおば伸学塾の村戸です。2017年3月に青森県八戸市で開業して、今年で6年目に突入しました。いまだ試行錯誤しながら最善の解を出すのに奮闘する毎日ですが、通ってくれている生徒やその保護者の方々、お知り合いの多くの先生方に支えられて、なんとかひとりで切り盛りできています。まだまだ未熟者ですが、こちらで今後よい報告ができるよう、若さをフル動員していろいろチャレンジしていきたいと思います。

さて、今回の入試を終えて感じた部分について述べたいと思います。今年の青森県の入試は、コロナ禍で易しくなっていた前回までよりも高難易度の問題が多かったという印象です。それに加え、教科書改訂の大きなポイントは押さえていたものの教科書の隅々まではと言うと甘い部分があったことを思い知らされた回でもありました。今回私が衝撃だったのが、社会の語句を書かせる問題で「エシカル消費」が出たことでした。エシカル消費とは、「環境や社会、人に配慮した商品（リサイクルの商品・被災地の商品・フェアトレードの商品）を選んで消費すること」（東京書籍・公民の教科書より）です。入試の日はその解答を見て、「エシカル消費なんて教科書のどこに書いてある?」と、集まった先生たちで一時大騒ぎでしたが、実際に探してあった場所は教科書端の「公民にアクセス」という窓の欄。あぁー、こういうところからも出題されるようになってきたんだなぁ、と。確かに過去の社会の問題でも、地理で小麦の栽培に適した環境についての問題が出題された際、「ひであきさんの自由研究」なんていう狭間のページにその記述があったこともあり、そんな問題出すか!?と思ったのと同時に、教科書って大事だなぁと改めて思った出来事でした。ちなみに県教委が発表したエシカル消費の問題の正答率は7.0%でした。たった7%と見るか7%も!?と見るか?



今回のことを受けて感じたのは、1つは教師側の準備の重要性です。こちらにもプライドがありますので、「え、そんな言葉聞いたことないよ!教科書に載ってる?」とは言いたくないわけです。そうならないような準備を心がけ、情報は日々アップデートしていきたいな、と。2つ目は、今回のような出題があったことで上位層の生徒側の向上心をくすぐることができるという点です。特に数学で多いですが「正答率の低い問題に燃える子」が、もっと理科や社会の教科書を読んでくれるようになる、そんな指導に結びつく気がしました。教科書には私たち教師側でさえ目からうろこの情報がたくさん散らばっています。学習の基礎であるそれをベースとし、大事にする子たちを育てる。そんな指導をしていきたいと感じたこの頃の近況でした。

報告　田村 純子（エイブル・香川県）

【小学生の英語教室について思うこと】

みなさん、昨年の英語の教科書改正は驚かされたことと思われます。文法が高1から順々に降りてきました。さらに、単語の量が半端ないのです。特に中1では小学校の英語の教科書で出てきた単語が既習済み（書けて当たり前）という無茶ぶりです。何とか去年は塾生の頑張りもあり単語テスト・本文テストをクリアできました。しかし、これは小学生のうちから少しでも単語を覚えさせねば……、と思ったのが昨年の12月です。

それまで小学生の英語は「Everyday English」という無学年タブレット自習型の教材を採用していました。採用当時は、16名満席となっていたのですが、学校でもタブレットを使った学習が導入され始め、生徒がだんだん減って来ました。そこに昨年の教科書改訂です。

小学5・6年でも、単語や英文が書けることは「Everyday English」でも実証済みでしたので、実際に多度津町の小学校で採用されている教科書の準拠の英語教室に変更したのです。中1で困らないようにということを保護者の方に書面で訴えました。

すると、小5・小6の各クラスの12名がほとんどが受講してくれました。小学生の英語に成績がつくようになりましたので、保護者の方たちも必要だと思われたようです。まず、小6を1月から始めました。教科書をもとに中学生と同じく「オリジナルテキスト」をつくり、文法を教えそののち単語テスト（基本文も含む）を次回に実施しました。小6は比較的学力の高い生徒さんが多かったのでみんな意欲的に学んでくれ、塾教材のQRコードの音声でリスニングの練習もしていきました。学校の英語が簡単に思えてきたそうです。当塾には「エイブル券」というものがあり、テストで満点をとると1枚50円の券を渡します。それを中学生レベルのテストだからと2枚にしたのが良かったようです。

問題は小5の英語でした。小5は4月から開始しました。小6に比べ漢字テストの出来も悪く、家での勉強などほとんどしない生徒が半数を占めます。小6と同じように英語を始めると、3回目から「おれ、英語嫌いや〜。」という子が数名出てしまいました。プリントに書かれている英文すら正しく写せないのです。このままではいけないと思い、小6より簡単なプリントづくりをし、単語テストの量も減らしました。そして、英語が嫌いにならぬよう、小5にはゲームを入れることにしたのです。まずは、ドラえもんウノを使って英語だけでゲームをしてみました。すると、みんなの顔が笑顔になりスッと英語が出てきたのです。

小学生のうちにできるだけ単語と簡単な英文を書けるようにしたいのですが、まず子供たちが英語を好きになれるよう、カルタや伝言ゲームなど遊びも大切にしなければならないと痛感しました。小5の英語開始3か月目で、ようやく穴埋め問題や並べ替えができるようになりました。単語テストも順調です。「1個でも、2個でも書けたら書けること自体奇跡なんだよ。」と言って大いに褒め倒しています。これからも試行錯誤を重ねながら、小学生の英語を指導していこうと思います。

2011→2022 ―復興の夏日きらめく街と人―
石巻出前寺子屋に幕を下ろす

谷村志厚（AIM学習セミナー[塾・アットホーム]・千葉県）

宮城県石巻市で2011年8月から実施していた、震災復興支援「石巻出前寺子屋」活動がついに幕を閉じた。この活動のきっかけは、当塾の谷村和枝が11年7月に石巻に単独でボランティアに入ったことに始まる。仮設団地集会所を借り受けての活動（スクーリング）は、2020年3月まで続き延べ117回に及んだ。11年8月16日に始まる第Ⅰ期活動は、当時震災復興支援策を模索していた私塾ネットの主催とした。12年7月からの第Ⅱ期は、私塾ネットに後援をお願いし当塾が主催団体として実行した。さらに14年4月以降は当塾の単独活動となり、日本キリスト教協議会震災対策室・東北ヘルプおよび個人有志からご支援をいただき継続した。

コロナ感染騒動で現地での活動は、2020年1月を最終回として休止を余儀なくされた。だが同年9月から谷村和枝はオンラインでの個人指導を再開した。そしてその活動は16回を重ね、2022年3月の最終授業をもって終止符を打った。

その後コロナ感染旅行規制の緩和もあって、志厚・和枝の両名は石巻行を計画した。このコロナ禍をはさむ間に、街と人がどのように変わったかを直接見たいと思った。そして6月5日の午後1時30分、石巻駅前の「大もり屋」さんに寺子屋OBの5人の皆さんに来ていただいた。いわば「同窓会」である。皆さんと昼食をとりながら、震災の当時を振り返りつつ、11年にわたるそれぞれの思い出を語り合った。

会食後、日和山公園、門脇小学校、南浜津波跡地など市内の思い出の地を巡った。まずは日和山に上がり街の復興の状況を俯瞰した。津波と火災で破壊され廃校となった門脇小学校は、市立の震災遺構施設に生まれ変わっていた。石巻湾に面する広大な津波被災地南浜地区は全域が石巻津波復興祈念公園となり、公園の整備が続いていた。3年前は道路工事ばかりであった市内もすっかり整備され、市中を流れる旧北上川には、新しい橋が2本も架けられているのには驚かされた。街に震災の爪痕はほぼない、復興は確実に進んでいるかにみえるが、震災後の人口の減少が顕著だという。

「同窓会」の席にKS君が出席していた。彼は小5の時に門脇小学校で被災した。2011年8月の第1回スクーリングから出席し、小・中・高そして社会人として3年、計10年にわたり寺子屋の受講生であった。英語が得意になった彼は、在籍した商業高校ではただ一人の商業英検1級取得者となった。

「同窓会」にお越しになったHMさんの三女Mさんもまた小5の時、隣町の女川小学校で被災した。彼女は中学生のお姉さんと一緒に寺子屋に来るようになったが、そのうち高校生の長女そしてお母さんも漢検講座に参加をされた。HMさんは中2の時、被災地3県の中高生を対象とするリーダー研修「トモダチプロジェクト」に選抜され、アメリカに短期留学を果たすなど際立った存在であった。

HMさんとは7年ぶりの再会

高校卒業後は仙台の大学に学び、今年の春卒業して石巻に戻ってきた。そして今、石巻津波復興祈念公園内の施設で、公園の管理と運営の仕事に就いている。Mさんが勤める公園内の施設を訪ねると、お母さんから連絡が入っていたのであろう、我々を満面の笑みで迎えてくれた。彼女はこれから石巻に根を張り、震災復興の証である祈念公園を完成するという貴重な事業に関わっていくのである。

ここで紹介をした2人は、出前寺子屋で出会いその後の成長を確認できた例であるが、ともに我々の励みであり誇りとする子たちである。

足かけ12年にわたり石巻の人と街に関わってきたが、街が変わる（復興）、人が変わる（成長）を確かめることができた。この石巻行で出前寺子屋の最後の幕を下ろすことができた。石巻の皆さん、活動を支えていただいた支援者の皆さん、ありがとうございました。

そして、一貫して先頭に立って寺子屋活動を押し進めた和枝さん、お疲れ様でした。

石巻出前寺子屋の記録

Ⅰ期	2011年8月16日〜2012年6月9日 スクーリング全22回（No.1〜22）
Ⅱ期	2012年6月17日〜2014年3月22日 スクーリング全42回（No.23〜64）
Ⅲ期	2014年4月20日〜2015年3月15日 スクーリング全13回（No.65〜77）
Ⅳ期	2015年4月12日〜2016年3月20日 スクーリング全12回（No.78〜89）
Ⅴ期	2016年4月24日〜2017年3月19日 スクーリング全12回（No. 90〜101）
Ⅵ期	2017年5月14日〜2018年3月17日 スクーリング全6回（No.102〜107）
Ⅶ期	2018年5/13・7/21・10/20・12/15 2019年2/23・4/14・6/8・8/12・11/9 2020年1/18 スクリング全10回（No.108〜117）
Ⅷ期	2020年9/26〜2022年3月13日 オンラインによる活動16回

2022年 センター役員一覧

全日本私塾教育ネットワーク 私塾ネット

役職	氏名	所属	所在地	執行役員 ※は兼任
理事長	田中　宏道	LAPIS 鎌ヶ谷	千葉県鎌ヶ谷市	○
会長	鈴木　正之	いぶき学院	東京都品川区	○
副会長・理事長代行	仲野　十和田	ナカジュク	東京都板橋区	○
副会長	湯口　兼司	湯口塾	香川県三豊市	○
副理事長	中村　直人	中村学院	神奈川県川崎市	○
副理事長	河浜　一也	学習共同体グループ	広島県広島市	○
副理事長	寺嶋　謙次	学習院セミナー	香川県善通寺市	○
副理事長	佐藤　將紀	若竹塾	広島県東福山市	○
事務局長	長江　広紀	英数学院	神奈川県川崎市	○
事務次長	長原　糸惠	のびのび学習塾	東京都練馬区	
会計部長	鈴木　学	デザインオフィススズキ	千葉県柏市	○
会計次長	木谷　朝子	木谷塾	東京都品川区	
広報部長	中村　直人	中村学院	神奈川県川崎市	※
広報次長	村戸　公博	あおば伸学塾	青森県八戸市	
広報次長	西本　雅明	パワーゼミ西本塾	広島県福山市	※
広報次長	谷本　里美	ユウリ進学塾	香川県高松市	
渉外部長	川久保　博史	英数義塾	東京都墨田区	○
渉外次長	桂馬　辰尚	桂馬ゼミナール	東京都足立区	
ネット管理部長	田中　宏道	LAPIS 鎌ヶ谷	千葉県鎌ヶ谷市	※
ネット管理次長	中村　庸彦	中村学院	神奈川県川崎市	
研修部長	仲野　十和田	ナカジュク	東京都板橋区	※
研修部次長	柳田　浩靖	日米文化学院	千葉県八千代市	
監事	梶原　賢治	朝日学習館	埼玉県川口市	
監事	加藤　実	綜合教育研究会	東京都荒川区	
最高顧問	谷村　志厚	AIM 学習セミナー	千葉県松戸市	
顧問	小宮山　博仁		東京都八王子市	
顧問	竹内　康信	山吹学習会	千葉県船橋市	
顧問	監物　一男		埼玉県さいたま市	
北海道代表				
東北代表	佐々木　康	やまばと学習館	青森県青森市	○
関東代表	渡辺　浩	人間教育渡辺塾	東京都北区	○
中部代表	松本　紀行	チャレンジ学院	長野県諏訪郡下諏訪町	○
中国代表	西本　雅明	パワーゼミ西本塾	広島県福山市	○
四国代表	小野　昭	小野塾	香川県丸亀市	○
ジュニアの会代表	渡辺　浩	人間教育渡辺塾	東京都北区	※
ジュニアの会副代表	湯口　哲朗	湯口塾	香川県三豊市	
ジュニアの会副代表	柳田　浩靖	日米文化学院	千葉県八千代市	

新連載 Vol.5

講師のための英文法

Grammar for English Language Teachers

近藤 誠介（文化の森スクール・徳島）

先号のアロー教育研究所の田嶋先生の文章中で、山崎貞先生の「新々英文解釈研究」に思わず目を止めてしまいました。今ある参考書のルーツともいえる本で、文法書の「新自修英文典」とセットになっています。両著作とも大正の初めに刊行され、この山貞の「新自修英文典」「英文解釈」を旧制高校や旧商大の受験のために旧制中学生が勉強したようです。それぞれ昭和４０年、３８年に新訂新版で発行されました。

私が高校時代に使用したのはその改訂版です。両書とも“名著復刊”として２００８年に出版されました。書店で目にすると思わず買い求めてしまいました。こういう時代だからこそ正統派の英語も面白いのでは。

その「新自修英文典」の「動名詞と分詞との比較の項」で、この項を始めたいと思います。

動名詞

“Gerund と Participle は同じ形を持っているが、Participle は Verbal Adjective（動詞状形容詞）であるから必ず名詞に関係する。しかるに Gerund は Verbal Noun（動詞状名詞）であるから、それ自身が Subject、Object あるいは Complement となることができる。”
―新自修英文典―

補足しておきますと、現在同じ形（～ ing）の現在分詞と動名詞は古英語（８～１１世紀）では、現在分詞の語尾は−ende などで、動名詞の語尾は−unge などでした。中英語（～１５世紀）では、−inde/−inge に。それが今までに混ざり合って中間的な～ ing になってしまいました。

形式として、例）take
a. taking 単純動名詞　b. having taken 完了動名詞
c. being taken　受動動名詞　d. having been taken 完了受動動名詞

・動名詞の表す時
動名詞は、特定の時とは直接的な関係を持ちませんが、相対的な時関係を持つことができます。動名詞の現在形（単純動名詞）は基本的には同時性を表しますが、しかし、この同時性はゆるやかなもので、主動詞の表す時を基準とすると、未来の場面（後行性）や過去の場面（先行性）を表すが、後行性を表すことは少ないといえます。
He denied telling me.〔先行性〕
Accepting this plan means getting up very early tomorrow.〔後発性〕

・意味上の主語
形式的な英語では、属格形や所有格形が用いられ、略式的な英語では目的格形が用いられます。動名詞節が文の主語である場合、動名詞節の主語は目的格形は用いません。
His being too credulous often gets him into trouble.
次の動詞のあとにある動名詞の主語は、通例所有格形が用いられます。
avoid、consider、defer、postpone、delay、deny、enjoy、put off、suggest、risk

・直接目的語としての動名詞と不定詞の意味上の差異
動名詞は通例、一般的な形で場面を表し、不定詞は通例、未来において実現可能な場面を表す。したがって、（現在あるいは過去の、または時間指定のない）経験を表す場合は動名詞を用いることが多く、話し手が可能な未来の場合について話す場合には不定詞を用いることが多いと言えます。

・動名詞のみを従える動詞
admit、appreciate、avoid、consider、delay、deny、dislike、endure、enjoy、escape、excuse、face、fancy、feel like、finish、forgive、give up、can’t help、imagine、mention、mind、miss、postpone、practice、put off、recommend、resent、resist、risk、can’t stand、suggest
この種の動詞のあとにくる動名詞は、「事実指向的」という特徴を共有します。つまり、「動名詞の内容が真である」ことを、話し手が前提としていることになります。

・不定詞のみを従える動詞
A. afford、agree、ask ／ beg、choose、decide、consent、expect、go on、help、hesitate、hope、mean、offer、prefer、promise、propose、refuse、swear、trouble、want ／ wish、hope、plan
この種の to 不定詞は、前回示したようにその表す動作が「未来指向的」という特徴があります。

B. 含意動詞
次の動詞は、過去時制において to 不定詞の内容が真であることを含意します。含意動詞は、「未来指向的」というより、「事実指向的」です。
bother（わざわざ…する）、happen、get ／ learn、manage、neglect、pretend、remember、dare、have the kindness、forget、decline、fail、cease
Bill happened to break the window. ／ He failed to pass the test.

・動名詞と to 不定詞の両方をとる動詞
A. どちらをとるかで意味が異なります。
動名詞は＜事実指向的＞to 不定詞は＜未来指向的＞
go on doing「…し続ける」、go on to do「続けて～する」
He stopped speaking and went on to read the letter.
try doing「…やってみる」、try to do「…しようとするが、できない」
mean doing「（結果として）…することになる」,mean to do「…するつもりである」
The new order will mean working overtime.
（この新しい命令では、超過勤務ということになる。）
afraid of doing
①「…するのではないかと心配する／恐れる」
I was afraid of losing my way.
②「怖くで…できない、あえで…する勇気がない」
I am afraid of going out at night.
afraid to do　②と同じ意味
sure ／certain of doing「（主語が）…することを確信している」
sure ／certain to do　「（話し手が）必ず…すると信じている」
B. 好悪動詞においても、動名詞の＜事実指向的＞不定詞の＜未来指向的＞は、有効であるようです。
love、like、prefer、hate、
×I’ll like dancing this evening. → I’ll like to dance this evening.
×I’d like telling you something. → I’d like to tell you something.
×I like dancing, but I don’t like dancing now.
→ I like dancing, but I don’t like to dance now.
×Mary loves to be a woman. → Mary loves being a woman..
C. attempt、intend 、propose（もくろむ）
動名詞と to 不定詞のどちらもとりますが、未来指向的な意味をもつ不定詞のほうが普通です。
D. begin 、start
しばしば同義に使用されますが、次のように「可能性」と「実行」の対立が明瞭な場合もります。
He started to speak, but stopped because she objected.
He started speaking, and kept on for more than an hour.
begin、start が進行形の場合は、to 不定詞が好まれます。
E. continue
He continued to speak.
（〔一度中断したあとで〕彼はまた話しはじめた。）
He continued speaking.
（〔中断せずに〕彼は話し続けた。）

AJC創立30周年記念式典報告　文責：私塾ネット副会長　仲野十和田

令和4年6月22日（水）午前10時30分より、全国学習塾協同組合（AJC 森貞孝理事長）の創立三十周年記念式典が、としま区民センターにて開催。当日は、参議院議員選挙の公示日で記念講演予定の下村博文氏（衆議院議員）の出席が危ぶまれたが、30分ほどの遅れで無事に執り行われた。私塾ネットからも田中宏道新理事長が挨拶の機会を頂いた。私塾ネットとAJCは、昔より大変友好的な関係で、今後とも互いに塾団体として協力し合ってやっていきたい。

私塾ネット以外の学習塾団体イベントにも参加できます！

学習塾団体合同会議とは：「社会のために、必要なことを、必要な人に提供する」

〔加盟団体〕公益社団法人全国学習塾協会、全国学習塾協同組合、NPO 法人学習塾全国連合協議会、私塾協同組合連合会、東京私塾協同組合、埼玉県私塾協同組合、茨城県学習塾協同組合、神奈川県私塾協同組合、千葉学習塾協同組合、全日本私塾教育ネットワーク

学習塾に通う子どもたちの未来、業界の健全な発展のために

学習塾団体合同会議

検索！

学習塾団体合同会議

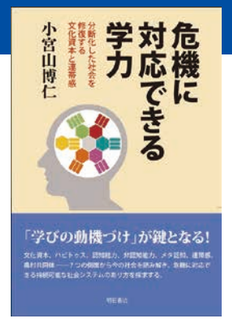
https://godokaigi.com

小宮山博仁先生の著書の電子書籍案内

【電子書籍版】

・図解　眠れなくなるほど面白い「大人のための算数と数学」（日本文芸社）
・図解　眠れなくなるほど面白い「統計学の話」
・図解　眠れなくなるほど面白い「数と数式の話」
・図解　眠れなくなるほど面白い「数学の定理」
・「大人に役立つ算数」（角川ソフィア文庫）
・「持続可能な社会を考えるための66冊」（明石書店）
・「危機に対応できる学力」（明石書店）

amazon



私塾ねっと誌上句会「春夏秋冬」　再開第五回　（谷村選＆評）

石鎚の険しき道に盛夏来る
青鷺や水面睨んで不動尊　**木内恭裕（徳島県）**

四国生まれの者にとって、石鎚山は霊峰と崇められる特別な存在だ。愛媛出身の小生は思わず返句「石鎚は全山青き梅雨の明け」。

亡き犬に鼻なめられて夏の夢　**中村直人（神奈川県）**
あの本屋この本屋も消え梅雨の街

松戸市の郊外である我が街からも本屋さんが消えて久しい。当初は街から文化が消滅したと嘆いたが、Amazonは便利とパソコンに向かう自分って、不誠実？

暑中見舞い返信書く手にあせにじむ　**長江勝秋（神奈川県）**
梅雨明けや耳鳴りの音三重奏Cm

梅雨明けの句、結句のCm（ツェーマイナー）はドミソの和音コード。さすがジャズマニアの勝秋さん、なんともしゃれた一語を添えられた。ギターを習うとまず最初に覚えるのがこのコード、梅雨明けだけに耳鳴りも快適、爽やかな音に聞こえたということであろう。

万緑の中や信濃の御開帳
夏草や名のなき草はなかろうに　**谷村志厚（千葉県）**

最終面の「表紙の花ことば」で紹介した牧野富太郎博士へのオマージュ。この方も四国のご出身（高知県）、石鎚山の植物もずいぶん採集されたことでしょう。

編集部からお願い

次号は11月発行の晩秋号です。投句はお一人3句まで秋の季語でお願いします。
投稿は、谷村までメールでお送りください。
締切は10月末日です、ふるってご投稿ください。
●メール：t-shiko.1949@aim-net.co.jp

私塾ネットセンター 事務局通信　事務局長　長江 広紀（英数学院・神奈川）

会員・名誉会員の皆様、賛助会員の皆様、他団体の皆様、お世話様です！　会費徴収の任にあたる会計部の皆様、執筆にあたる広報部をはじめとする皆様、研修部の皆様、ご苦労様です！　広報発送作業に従事される先生方いつもありがとうございます！

5月くらいから口内炎が常時できている状況です（笑）。自塾のほうが忙しく（忙しいだけ嬉しいのですが）、塾団体の仕事が入ると体に表れます。時間がとれないという訳ではなく、昔から同時に1つのことしかできない性分で、何かに取り組むと気持ちがそれに入り込みすぎて、一方がダメになるという典型です。スポーツ選手に例えると、原辰徳や若島津のように結婚すると仕事がダメになるタイプに似ていると思います（笑）。そういえば、プライベートが充実している時期は大概生徒募集がうまくいっていないことが多く、受験後が別れの季節だったりします。そんな人間が子どもたちに「勉強と部活の両立を頑張ろう」と励ましている矛盾に、葛藤している自分がいたりします。他人からは抜けているように見えるかもしれませんが、完璧にやろうと思って取り組むので、全部をそうやると、私の場合それが口内炎という分かりやすい形で現れます。このように決して器用ではありません。仕事も一定の基準を満たすまで時間がかかります。現代社会では損をするタイプの人間だと自覚しています。よって、皆様のご支援、励まし、労いの言葉、大募集です（笑）。褒められると伸びるタイプでもあります。

編集後記　広報部長：中村 直人

今回第78号の賛助会員のコーナーでは、来年度より芝国際中学・高等学校と改名・共学化する東京女子学園さまと自由学園さま、企業からは業界の3大誌の一つの私塾界さまから原稿をいただきました。お忙しい中、まことにありがとうございました。また、谷村先生ご夫妻の「出前寺子屋」の足掛け12年の石巻復興援助活動は、大変な偉業でした。お疲れ様です。前号で紹介いたしました、小宮山博仁先生の本の希望申し込みもまだ受け付けております。広報まで先着順。下の花言葉の補足：クレマチスはツルが細いのに大きく鮮やかな花を咲かせることから「精神の美」とも呼ばれています。さて今回も相変わらず、エリア報告の書き手が少ないです。エリア代表からの依頼にはすすんでご依頼を受けてください。

表紙の花 こ・と・ば

クレマチス　ドクターラッペル

（キンポウゲ科クレマチス属）

和名は鉄線（テッセン）、風車（カザグルマ）。いずれもこの花姿からの命名であろう。針金のような細い蔓に、風車のような大きな花弁を思わせる、蕚（がく）が際だつ花だ。ドクターラッペルは、クレマチスの中ではもっともポピュラーな品種らしい。で、ドクターラッペル？その名の由来は、植物に関する膨大な知識を有していた、アルゼンチンの医師Dr.Ruppelという方が語源らしい◆植物学者と言えば、わが国では牧野富太郎氏の右に出る方はおられまい。1957年に94歳で亡くなられているが、生涯を通じて残した植物標本は40万、命名植物は1500種を数えるそうだ◆牧野博士は含蓄ある言葉を残されたことでも有名だ。「雑草という名の植物はない」はいかにも植物命名学者にふさわしい一句だ。そして「花は、美点に満ち満ちた生殖器で、動物の醜悪なそれとは雲泥の差」とはなるほど納得。ちなみに博士は13人の子沢山であられた◆ところで、来年のNHKの朝ドラは、牧野博士をモデルにした「らんまん」と言う作品だそうな。（志厚）